

か ん だ つ

土浦市立神立小学校

NO. 6

水泳が始まりました

福島第1原子力発電所の事故を受けて、子どもたちの安全・安心を確保するために、水泳指導の実施を延期してきましたが、土浦市内で放射線量の測定を継続して行い、そのデータをもとに検討した結果、土浦市の全小中学校で水泳が実施されることになりました。これからも、放射線量の測定を継続し、安全であることを確認した上で、水泳の学習を行いたいと思いますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

水泳の学習は6月27日から実施される予定でしたが、天候不順のため、子どもたちがプールに入ったのは28日からです。以後暑い日が続いているので子どもたちは、プールで元気に水しぶきを上げています。



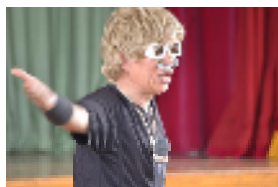
読書活動を推進しています

「みんなに進めたい一冊の本」の運動は今年も行っています。1年間で50冊、4・5・6年の3年間で300冊を目指しています。今年はそれに加え、土浦市では「全ての児童生徒が1年に10冊以上本を読む」ことを目標として掲げています。神立小では、読書の時間を設定したり、図書室の利用を進めたりしていますが、それ以外に読み聞かせの活動も進めています。PTA文化委員会による読み聞かせ、ボランティアによるお話玉手箱、そして、図書委員会の児童による読み聞かせです。児童による読み聞かせは、6月27・28日の朝行われしました。1・2年教室に図書委員会の5・6年の児童が行き、上手に本を読んであげていました。聞く方も真剣に聞くことができました。これを機会に読書しようという意欲が高まれば、と期待しています。

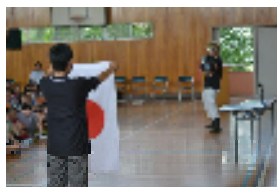


文化講演会「Dr. ナダレンジャー」

6月23日にPTA文化委員会主催の講演会「Dr. ナダレンジャー」が開かれました。講師は防災科学技術研究所の総括主任研究員、納口恭明さん、少しあやしいでたちのDr. ナダレンジャーに変身して神立小体育館に出現しました。手品のようにさまざまな小道具を取りだしては雪崩や地震を再現し、災害のしくみを楽しく解説していただきました。子どもたちも話に夢中になり、身を乗り出して聞いていました。最後はサインを欲しがらる子が出るなど、大人気でした。これを機会に子どもたちが災害に関心を持ち、防災力を高めてくれたら、と思います。



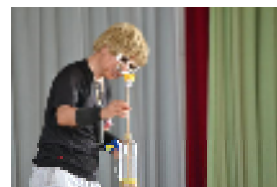
(ナダレンジャー登場)



(空気砲の実験)



(液状化の実験)



(液状化の実験)



(地震の実験)



(建物が崩れる実験)



(ありがとうナダレンジャー)



(さようならナダレンジャー)